



慶應義塾

教育・研究・医療 環境整備事業のご案内

世界に開かれた学府を目指し、
学問の力で未来を築く
人材を育てます。



ごあいさつ

「学問によって社会に貢献する」— 慶應義塾はこの建学理念を実現すべく、「慶應義塾 教育・研究・医療 環境整備事業」を通じて教育、研究、医療等の質をさらに高めてまいりました。いよいよ募金期間終盤を迎えた「慶應義塾大学病院新病院棟建設事業」を含め、次世代の人材育成や先進的かつ多様な取り組みは、大きな変化の時代において、慶應義塾や社会の未来のために必要と考えております。本事業を礎に慶應義塾はその個性と強みを発揮し、一層の社会貢献を果たしてまいります。引き続き皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

慶應義塾長 長谷山 彰



— 2017年に開設100年を迎えた医学部は、大学病院とともに次の100年へ—

慶應義塾大学病院は、各診療科協力による総合的で質の高い診療、人材・医療提供における全国各地の医療機関との連携などで評価を得るとともに、国や自治体の指定による重要な医療機関としてその役割を果たしてきました。

医療・医学状況が日々変化するなか、さらに高レベルで最適な医療を実現するため、新病院棟建設事業が進められています。

医療サービスを高める設計

外来ホスピタルモール



- 内科、外科などの診療科の垣根を越えたチーム医療を各病棟レベルで実現
- 外来受付のブロック化による待ち時間短縮

女性病棟ラウンジ



- 患者さんのプライバシーの確保と快適さの向上

手術室

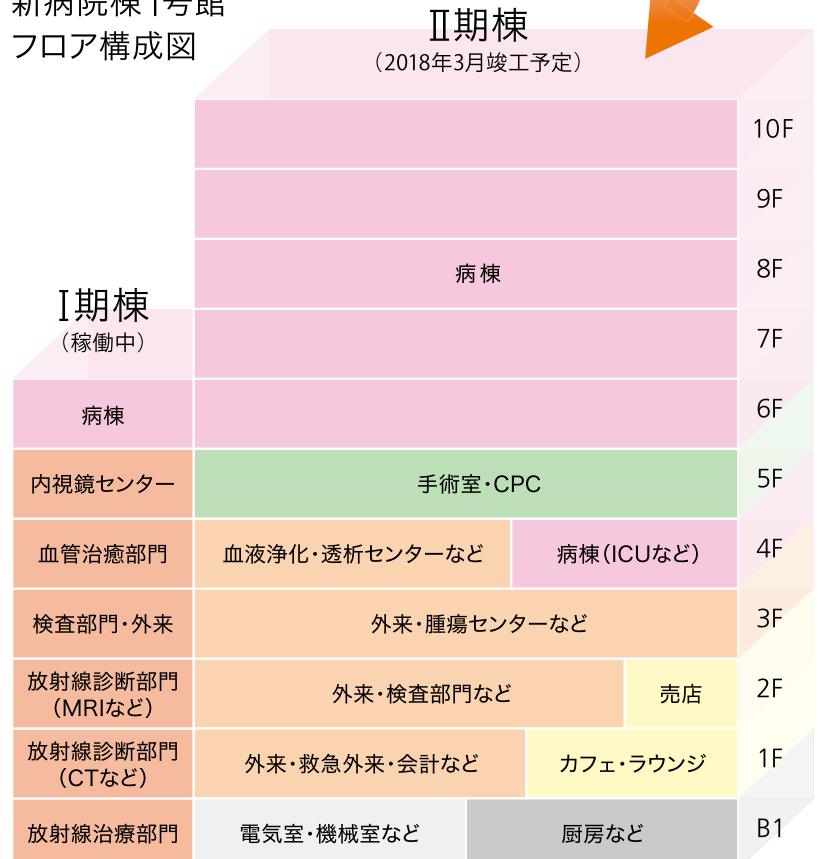


- 手術室の拡充 ● 病棟、手術室間の動線を最適化
- 新しい治療法を円滑に実施できるレイアウト
例：5階の手術室の隣に免疫細胞療法のためのCPC(セル・プロセッシング・センター)を設置



▲ 新病院棟外観イメージ

新病院棟1号館 フロア構成図



4つの 事業 計画

1. 全ての医療チームが結集し、国民の健康増進と疾患制圧に貢献するクラスター診療の実現
2. 世界最先端の基礎臨床一体型医学の展開による国際医療拠点の創設
3. 災害に強い都市型地域医療の推進
4. 医看薬^{*}の連携による世界を先導する医療人の育成

※医学部、看護医療学部、薬学部

新病院棟建設事業の詳細につきましては右記Webサイトをご参照ください <http://www.nhwp.keio.ac.jp/>

地域貢献

災害拠点病院として

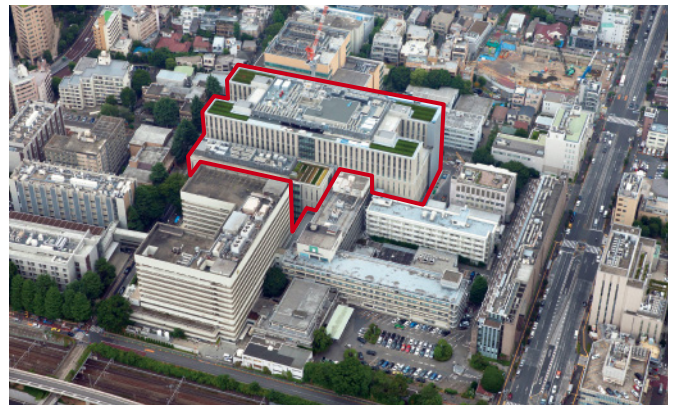
周囲には新宿御苑、明治神宮外苑などの広域避難場所があります。新病院棟では免震構造や発電システム、災害用井戸の設備のほか、緊急医療体制を想定したスペースの整備・活用によって、災害時に住民や避難者への医療提供に対応できるようにしていきます。

東京オリンピック・パラリンピックのサポート

主会場となる新国立競技場(建設中)に最も近い医療支援機関病院として、積極的な支援を検討しています。また、競技場内の医務室に医師・看護師を派遣予定です。



▲ 最終完成予想イメージ



▲ 工事進捗状況(写真)

人材育成とスタッフを支える環境

病院内各所に設けられる専用実習スペースの充実によって、医学部・看護医療学部・薬学部の学生が合同で医療現場の緊張感に触れながら、実践的な実習を通してチーム医療を学んでいきます。また、医療スタッフのためのコアラウンジの設置により、診療科と職種の垣根を越えて意見を交換し合える環境は、患者さんの安心や医療サービスの向上につながります。



▲ スタッフコアラウンジ



医療系3学部合同教育につきましては右記Webサイトをご参照ください <http://ipe.keio.ac.jp/>

新築スケジュール



医学部開設100年記念

シンポジウム・式典・祝賀会開催

2017年5月13日、ホテルニューオータニにおいて、約1,000名の来賓・招待者、慶應義塾関係者が一堂に会し、医学部開設100年を記念したシンポジウム、式典、祝賀会が行われました。シンポジウムでは山中伸弥博士(京都大学)をはじめとする国内外の著名な研究者が「慶應医学一次の100年に向けて」をテーマに講演を行い、参加者は未来への期待が膨らむ最先端の医学・医療の知見を共有しました。記念式典では文部科学大臣、厚生労働大臣、経済

産業大臣などの多数の祝辞が寄せられるなか、医学・医療の道を切り拓いていこうとする医学部生の決意と未来に向けた宣言が多くの人の感動をよびました。その後の祝賀会は、医学部生の多種多様な企画にあふれた終始華やかなものとなり、フィナーレを迎えました。医学部100年の輝かしい足跡と伝統、次代への決意が存分に感じられる新たな門出にふさわしいイベントとなりました。



▲ 宣言を述べる医学部生



▲ シンポジウム

TOPICS

慶應義塾
の連携

『地域、社会とつながる』

「慶應義塾 教育・研究・医療 環境整備事業」
以外のさまざまな取り組み

慶應義塾の“力”を活かした 社会貢献

1964年、日本で最初に開催された東京オリンピックの際、慶應義塾からは医師や看護師が大会サポートのために派遣されています。それから半世紀以上が経過した2014年には、2020年大会の組織委員会との間で、オリンピックの機運醸成などに関する協力協定を結んでいます。2017年3月には、英国オリンピック委員会との間で、英国オリンピック代表チームの大会前準備(事前キャンプ)の地として、日吉キャンパスにあるスポーツ施設などの提供を約束しました。また、医療面に関する大会サポートの核の一つとして、慶應義塾から医師や看護師の派遣などを行うことになっていて、慶應義塾の“力”を活かした貢献が求められています。



2年目を迎えた 殿町タウンキャンパス

2016年4月に川崎市殿町地区に開設されたキャンパスは、2017年10月に隣接する建物にラボや講義室、事務室機能などを集約移転し、効率的かつ効果的なキャンパス運営がされることとなります。殿町地区に集積しているロボティクス、ナノテクノロジー、再生医療などの多様な技術領域で世界をリードする大学、企業、研究機関や自治体との連携・協力による「科学技術振興機構リサーチコンプレックス推進プログラム」を活用した拠点形成を行い、世界に誇る社会システムと技術の革新で新産業を創るウェルビーイング・リサーチ・キャンパスを目指しています。



最先端医療の実現と医学教育の 未来のために、今一度のご協力を

総事業費約300億円超の大規模プロジェクトである「慶應義塾大学病院新病院棟建設事業」は、総事業費のうち140億円を慶應義塾本体の自己資金、60億円を病院部門・医学部の自助努力による積立金から充当し、残り100億円につきましては2013年1月より広く皆さまにご寄付をお願いしてまいりました。

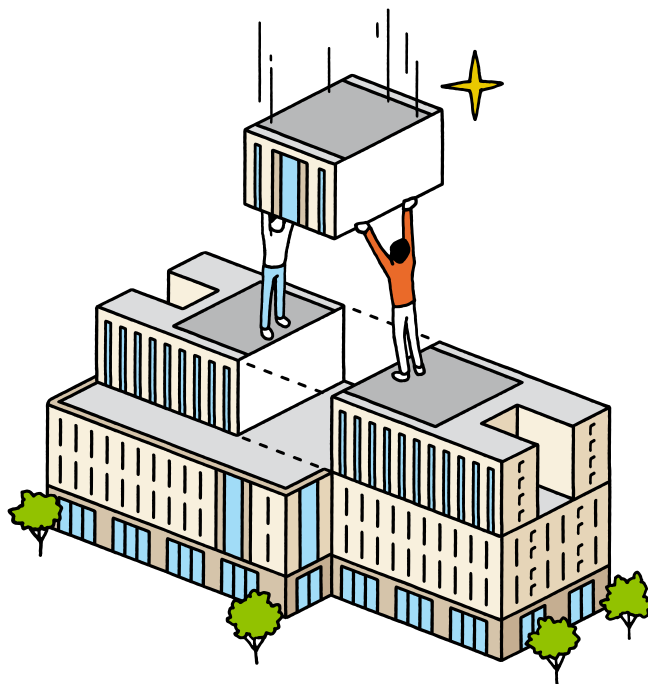
これまでの多くのご厚志により、2017年7月末時点での寄付申込金額は、目標額の約9割に相当する約92億円に達しております。あたたかいご支援ならびに、そこに込められた慶應義塾や新病院棟への期待、思いは大変有難く、心より感謝申し上げます。

2018年3月末に募金期間終了を控えた今、「募金目標額達成」という目の前のゴールを駆け抜けるためのラストスパートの時期に差し掛かっています。最先端医療の実現と次世代の人材育成のために、引き続き一人でも多くの皆さまのお力を賜りますようお願い申し上げます。

(ご寄付のお手続きにつきましては、5～6ページをご覧ください)

募金目標額達成まであと一步(8億円*)!!

～2018年3月末まで～



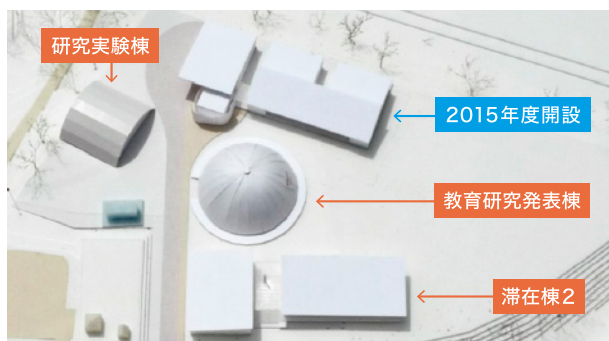
※2017年7月末時点での募金状況より

— SFC開設25周年事業、理工学部創立75年記念事業の報告 —

慶應義塾大学
未来創造塾

未来創造塾

SFCでは、「未完のキャンパス」をテーマにSBC(Student Build Campus)の活動を中軸とした進化が日々続いています。2015年度に続き、2017年度には第2期計画として3棟の教育研究施設が竣工し、2018年度からは100名弱が滞在できる宿泊施設が整います。



75
75th Anniversary
Science & Technology
Keio University

理工学部 創立75年記念事業

「国際人材育成基金」の設立、「慶應義塾基礎科学・基盤工学インスティテュート(KiPAS)」開設、「慶應義塾イノベーションファウンダリー」の開設の3つを柱に、理工学部・大学院理工学研究科の教育・研究に資する事業が実行されています。現在、新しい34棟を拠点とするKiPASプロジェクトでは、4名の主任研究員によって「数論幾何的予想の解決に向けた挑戦的研究」「強相関量子多体現象を定量的に解析・予測できる量子場理論の開発研究」「ナノクラスターの秩序集積によるシステム化学」「『からだの進化、こころの遺伝』を生み出す神経機構の文理融合研究」が推進されています。



▲ 34棟 教育研究棟

慶應義塾 教育・研究・医療 環境整

お申込につきまして

■ 個人の皆さま

一口1万円から

できましたら五口以上のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※公職選挙法などの法令により寄付が禁止されている方は、寄付募集の対象外とさせていただきます。

銀行・郵便局(ゆうちょ銀行)

慶應義塾所定の「払込用紙(兼申込書)」をお使いのうえ、金融機関・郵便局の各窓口でお払込ください。お手元に「払込用紙」がない場合には慶應義塾基金室までご請求ください。ATM、ネットバンキングでのお払込は、ご寄付者の確認ができない場合がございますので、ご利用できません。

預金口座振替

ご指定いただいた口座から、募金名称(略称)を「新病院棟建設」と指定しての自動引き落としとなります。月払の分割払い、一回(一括)での振替もお受けいたしますので、金融機関に向くことなく、ご利用いただけます。

ご希望の方はお手数ですが慶應義塾基金室まで「寄付金自動払込申請書」をご請求ください。

※振替可能な振替期間は、募金期間終了の2018年3月までとなります。

インターネット募金

インターネットからも募金名称(略称)を「新病院棟建設」と指定して直接お申しいただけます。

詳しくは慶應義塾基金室の下記Webサイトをご覧ください。

(<http://www.kikin.keio.ac.jp/>)

※11月中旬以降にお申込をいただく場合は、

翌年分の確定申告の対象になります。

※海外からのご寄付にもご利用ください。



よくあるご質問

- Q** 寄付はいつまで可能ですか？
- A** 募金期間の2018年3月31日までお申しいただけます。
- Q** 振込用紙に記載欄のある「寄付者番号」が分からないのですが。
- A** ご案内の封筒の表面に印字されている「宛名番号」をご確認ください。
封筒の紛失などでご不明な場合は空欄でも結構です。
- Q** 選択する募金名称(略称)によって、何か違いはありますか？
- A** 2016年4月より、「慶應義塾 教育・研究・医療 環境整備事業全般」、「新病院棟建設事業」のいずれの募金名称(略称)をご指定いただいた場合でも、「新病院棟建設事業」へのご支援としてご寄付のお受入れをさせていただきます。また、ご選択いただいた募金名称(略称)にて領収証の発行、ご芳名の発表、ご寄付者の顕彰手続きをいたします。あらかじめご了承ください。
- Q** インターネット募金で寄付を申しましたが、領収証はいつ届きますか？
- A** 領収証などは各カード会社・収納代行業者から慶應義塾へ入金後、ご送付いたします。領収証発行日付はお申込受付日ではなく、慶應義塾入金日となりますのでご注意ください。お申込に際しましては、Webサイトにて「お申込のご注意」をご確認ください。

■ 法人・団体(三田会など)としてご寄付をご検討の皆さま

お申込手続きの詳細につきましては、別途ご案内をお送りいたします。

お手数ですが、慶應義塾基金室までお問い合わせください。

※法人さまからのご寄付は、法人税法上、優遇措置の対象となります。詳細につきましては、慶應義塾基金室までご連絡ください。

備事業へのご支援のお願い

■ 寄付金控除のご案内

この寄付金は慶應義塾への寄付金として、所得税の「所得控除」または「税額控除」のいずれかをご選択いただけます。さらに住民税においても、条例で慶應義塾を寄付金税額控除の対象法人とし指定している地域にお住まいの方は、住民税の「税額控除」の対象になります。

詳細につきましては、寄付金控除に関するチラシ(A4両面)、下記Webサイトをご参照ください。

<http://www.kikin.keio.ac.jp/menzei.html>

※新入生保証人および新入生の方へ

入学した年内に新入生保証人および新入生がご寄付される場合には、「学校の入学に係る寄付金」とみなされ、寄付金控除の対象から除外されます。



■ 海外(米国)からの寄付につきまして

米国納税者からのご寄付につきましては、Give2Asia(ギブ・ツー・アジア)経由でお申しいただくと、米国税法上の税制優遇措置を受けることができます。

詳細につきましては下記Webサイトをご参照ください。

<http://www.kikin.keio.ac.jp/us/jp.html>

芳名録の作成・ご芳名の発表、ご寄付者の顕彰

ご寄付を賜りました方々のご芳名は、「芳名録」に記し、末永く慶應義塾の歴史にとどめさせていただきます。

また、ご希望により慶應義塾の機関誌である「三田評論」に、ご芳名と金額を掲載させていただきます。

それぞれの募金への寄付累計額が基準額以上の個人、法人、団体さまには顕彰銘板を作成し、

ご芳名を掲げさせていただきます。対象の寄付者の皆さまには、改めてご案内をさせていただきます。

銘板掲載基準および掲載場所

募金略称	新病院棟建設	教育・研究・医療環境整備事業
寄付累計額	100万円以上	100万円以上
銘板掲載場所(予定)	信濃町キャンパス 新病院棟1号館1階 正面入り口付近の ホスピタルモール	日吉キャンパス



▲ 信濃町キャンパス 銘板設置スペース(イメージ)



世界トップレベルの

理工学教育研究拠点の形成

「国際人材育成基金の設立(2015年4月1日付)」「慶應義塾基礎科学・基盤工学インスティテュート(KiPAS)の活動開始(2014年4月～)」「慶應義塾イノベーションファウンダリー(KIF)の活動開始(2014年4月～)」を通じて、理工学部の将来を担う学生、研究者の教育研究活動の一層の活性化を図り、世界トップレベルの理工学部教育研究拠点形成の実現を目指しています。

2012年4月1日～2014年9月30日

募金目標額 10億円 終了



2012

2013

2014

理工学部創立75年

2015

SFC開設25周年

2016

2017

医学部開設100年

2018

2019



慶應義塾大学病院 新病院棟建設事業

2013年1月1日～2018年3月31日

募金目標額 100億円

医学部が2017年に開設100年を迎えるにあたり、新病院棟を中核とした最先端の医学・医療の追求とグローバルな視野を備えた医療人の育成を目指します。人々の健康を守り、社会に貢献し続けることで、「慶應医学次の100年」の礎を築いていきます。



未来創造塾事業

2012年9月1日～2016年3月31日

募金目標額 30億円 終了

未来を先導する慶應義塾の「実験キャンパス」として、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(通称SFC)は1990年の開設以来、新たなネットワーク社会を見据え、先進的な取り組みを進めてきました。開設25周年の2015年に慶應義塾のグローバル・ゲートウェイとなる「未来創造塾」を創設し、新たなチャレンジを続けています。



慶應義塾大学病院新病院棟建設事業に関するご連絡・お問い合わせ先

慶應義塾大学病院 [秘書課]

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
TEL:03-5363-3606(平日9:00～17:00) FAX:03-3357-2773
<http://www.nhwp.keio.ac.jp/>

募金に関するご連絡・お問い合わせ先

慶應義塾基金室

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
TEL:03-5427-1898(平日9:00～17:00) FAX:03-5427-1546
E-mail:kikin-box@adst.keio.ac.jp
<http://www.kikin.keio.ac.jp/>